

令和元年度第1回練馬区立美術館運営協議会 次第

日時：令和元年 11月22日(金)午後2時

場所：サンライフ練馬 研修室

1 平成30年度事業報告

- (1) 展覧会事業
- (2) 教育普及事業
- (3) 美術作品の収集事業
- (4) 施設利用状況
- (5) 広報活動と反響

2 令和元年(平成31年)度事業計画(中間報告)

(1) 展覧会事業

くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展

ふえるコレクション、かわるコレクション

没後50年 坂本繁二郎展

エドワード・ゴッリーの優雅な秘密

没後10年 品川工展 組み合わせのフォルム

生誕140年記念

背く画家 津田青楓とあゆむ明治・大正・昭和展

(2) 教育普及事業

3 その他

令和元年度

第1回 練馬区立美術館運営協議会

練馬区立美術館

(令和元年11月22日)

令和元年度第1回練馬区立美術館運営協議会資料 目次

練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
練馬区立美術館運営協議会条例	3
1 平成30年度事業報告	
(1) 展覧会事業	5
(2) 教育普及事業	
平成30年度教育普及事業実績	7
平成30年度博物館実習受入実績	18
平成30年度美術館サポーター活動実績	19
(3) 美術作品の収集事業	
平成30年度美術作品の収蔵状況	20
平成30年度練馬区立美術館寄贈・寄託等リスト	21
平成30年度収蔵品貸出一覧	24
美術館収蔵品データベースに対する反響	25
(4) 施設利用状況	26
(5) 広報活動と反響	27
2 令和元年(平成31年)度事業計画(中間報告)	
(1) 展覧会事業日程	35
くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展	36
ふえるコレクション、かわるコレクション	37
没後50年 坂本繁二郎展	38
エドワード・ゴッリーの優雅な秘密	39
没後10年 品川工展 組み合わせのフォルム	40
生誕140年記念	
背く画家 津田青楓とあゆむ明治・大正・昭和展	41
(2) 教育普及事業	42

第 17 期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

	氏 名	役 職
学識経験者	タカハシ コウジ 高橋 幸次	国際ファッション専門職大学教授 元日本大学芸術学部 教授
	アオキ シゲル 青木 茂	明治美術学会顧問
	イズイ ヒデカズ 伊豆井 秀一	埼玉県立近代美術館 元専門員兼学芸員
	サトウ ヤスヒロ 佐藤 康宏	東京大学教授
	シマダ ノリオ 島田 紀夫	実践女子大学名誉教授
	ナイトウ マサト 内藤 正人	慶応義塾大学教授
	マブチ アキコ 馬淵 明子	国立西洋美術館館長
練馬区議会 議員	シバタ さちこ 柴田 さちこ	区議会議員
	トミタ けんじ 富田 けんじ	区議会議員
	イワセ たけし 岩瀬 たけし	区議会議員
	きみがき ケイコ きみがき 圭子	区議会議員
公募区民	スドウ アサヨ 須藤 麻世	公募区民
	サイトウ ノリコ 齋藤 宜子	公募区民
	ワタナベ ヒトミ 渡邊 瞳	公募区民
美術団体 関係者	ヨシダ ミソウ 吉田 巳蔵	練馬・文化の会代表
	シマダ コウイチロウ 島田 紘一呂	練馬区美術家協会会長
学校教育 関係者	エガワ サトシ 江川 誠志	区立中学校校長
	タカハシ フミキ 高橋 史樹	区立小学校主任教諭

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和60年10月8日

条例第45号

(設置)

第1条 練馬区立美術館(以下「美術館」という。)の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関する事。
- (2) 美術館の事業計画に関する事。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第3条 協議会は、委員19人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8人以内
- (2) 練馬区議会議員 4人以内
- (3) 区民 3人以内
- (4) 美術団体関係者 2人以内
- (5) 学校教育関係者 2人以内

2 前項第3号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第6条 協議会に会長および副会長を各1人置く。

2 会長および副会長は、委員が互選する。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議長は、会長が務める。

4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くこ

とができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、地域文化部において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則(平成23年12月条例第53号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則(平成26年12月条例第49号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

1 平成30年度事業報告

(1) 展覧会事業

平成30年度 展覧会事業日程および観覧者数

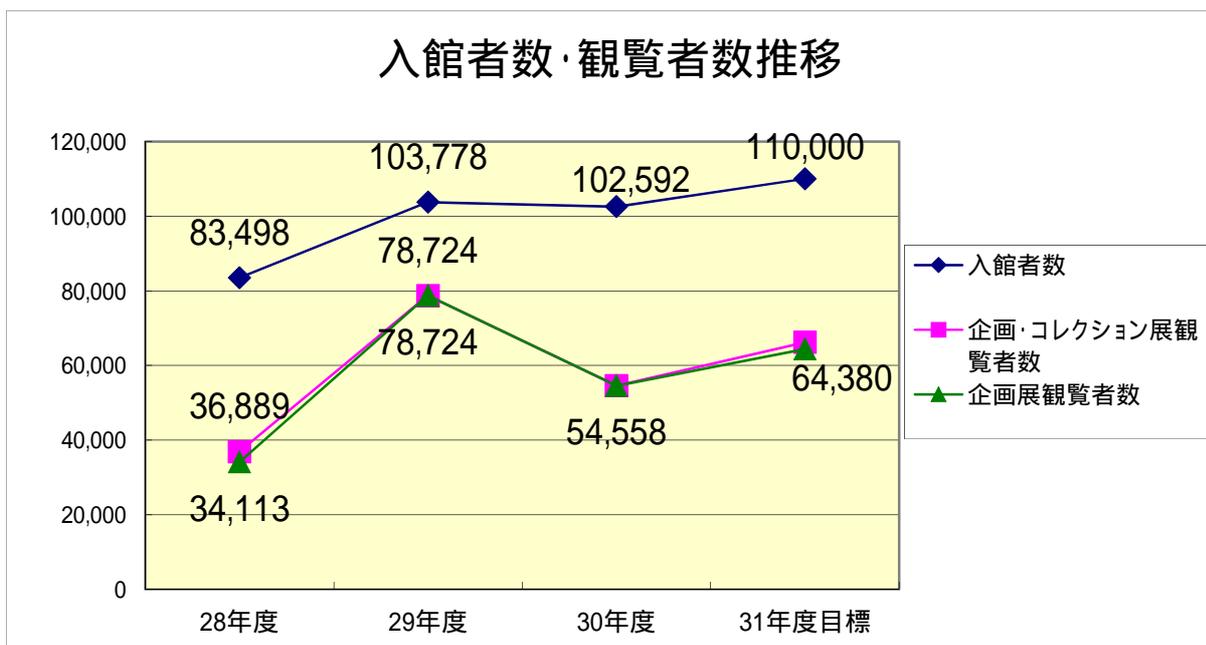
(ア) 企画展等

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
4月26日(木) ～6月17日(日)	戦後美術の現在形 池田龍雄展 - 楯円幻想	46	12,880 (280)	6,704 (146)	52.0%
6月22日(金) ～7月29日(日)	生誕120年 オオイナルシュウネン 中村忠二展	33	4,620 (140)	2,986 (90)	64.6%
8月5日(日) ～9月24日(月・休)	芳年 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	44	16,280 (370)	17,668 (402)	108.5%
10月7日(日) ～11月25日(日)	笠井誠一展 - 形の世界 -	43	9,890 (230)	5,903 (137)	59.7%
12月1日(土) ～2月11日(月・祝)	人間国宝・桂盛仁 金工の世界 - 江戸彫金の技 -	58	8,120 (140)	8,011 (138)	98.7%
2月24日(日) ～4月21日(日)	ラリック・エレガンス 宝飾とガラスのモダニティ - ユニマットコレクション -	49	16,170 (330)	13,286 (271)	82.2%
	合 計	273	67,960 (249)	54,558 (200)	80.3%
	前年度	285	105,590 (370)	78,724 (276)	前年度比 69.3%

(イ) 各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	
6月22日(金) ~7月1日(日)	第64回練馬区美術家協会展	9	1,419 (158)	
1月12日(土) ~1月16日(水)	中学校生徒作品展	4	3,343 (836)	
1月19日(土) ~1月24日(木)	小学校連合図工展	5	9,970 (1,994)	
1月26日(土) ~1月27日(日)	小・中学校連合書初め展	2	9,938 (4,969)	
2月2日(土) ~2月11日(月・祝)	第50回練馬区民美術展	9	2,754 (306)	
合 計		29	27,424 (946)	前年度比 105.4%
前年度		28	26,027 (930)	

入館者数比較	29年度	30年度	前年度比
	103,778	102,592	98.9%



(2)教育普及事業

平成30年度 教育普及事業実績

令和元年11月1日作成

館内事業

) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

関連ワークショップ・講座

事業名		日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
池田龍雄展関連 ワークショップ	部屋の中=箱の中 - 美術館にあるものを、並べて/重ねて/繋げてみる[A]	5月20日(月) 10:30~12:30	富井 大裕 (武蔵野美術大学准教授)	開催中の池田龍雄展から、展示作品のボックスアートに因んだワークショップ。創作室全体を一つの箱ととらえて、様々なものを並べて重ね組み合わせ、インスタレーション(空間を作品化すること)を体験した。	小学生以上	無料+観覧券(当日以外の半券可)	15	12	12
	部屋の中=箱の中 - 美術館にあるものを、並べて/重ねて/繋げてみる[B]	5月20日(月) 14:00~16:00					15	10	10
中村忠二展関連 ワークショップ	「忠二の言葉とあなたの絵 言葉+絵の小品作り」[A]	7月7日(土) 10:30~11:30	真子 みほ (当館学芸員)	展覧会鑑賞の後、忠二の言葉を選び、約10センチ四方のイラストボードにその言葉と言葉に合った絵を描き、最後にプラスチック板を表面に着けふちをテープでとめ、簡単な額縁のある小品を作った。当日受付とした。	5歳以上	100円(材料費)+当日の観覧券	8	0	0
	「忠二の言葉とあなたの絵 言葉+絵の小品作り」[B]	7月7日(土) 13:30~14:30					8	4	4
	「忠二の言葉とあなたの絵 言葉+絵の小品作り」[C]	7月7日(土) 15:00~16:00					8	1	1
	「忠二の言葉とあなたの絵 言葉+絵の小品作り」[D]	7月8日(日) 10:30~11:30					8	3	3
	「忠二の言葉とあなたの絵 言葉+絵の小品作り」[E]	7月8日(日) 13:30~14:30					8	3	3
	「忠二の言葉とあなたの絵 言葉+絵の小品作り」[F]	7月8日(日) 15:00~16:00					8	4	4
中村忠二展関連 美術講座	モノタイププリント[A]	7月14日(土) 10:30~17:00	山口 茉莉 (版画家)	展覧会鑑賞の後、塩ビ板に絵具やペンで絵柄を描き、紙に写し取るモノタイプの手法を体験した。A3からA4の作品に仕上げた。	中学生以上	700円(材料費)+当日の観覧券	15	29	15
	モノタイププリント[B]	7月15日(日) 10:30~17:00					15	30	15
芳年展関連 ワークショップ	芳年の色をみつけよう!「鑑賞と絵具遊び」[A]	8月14日(火) 10:30~12:30	真子 みほ (当館学芸員)	色に注目して芳年展を鑑賞した後、展示作品の中から自分の好きな色1色を決め、似た色のカラーチップを選ぶ。創作室に戻りそのカラーチップをもとに絵具で色を作り、参加者皆の作った色だけで、芳年の絵に使われている模様を色紙に描き作品とした。	小学生	300円(材料費)	10	9	7
	芳年の色をみつけよう!「鑑賞と絵具遊び」[B]	8月14日(火) 14:00~16:00					10	8	7
	芳年の色をみつけよう!「鑑賞と絵具遊び」[C]	8月15日(水) 10:30~12:30					10	8	8
	芳年の色をみつけよう!「鑑賞と絵具遊び」[D]	8月15日(水) 14:00~16:00					10	6	6
	多色木版の摺り体験とうちわ作り! [A]	8月19日(日) 10:30~12:30	高橋 由貴子 (高橋工房代表)	展覧会鑑賞と説明の後、3版の絵柄2種から1つを選び摺り体験をした。摺った紙はうちわに貼りこみ持ち帰った。	小学4年生以上	1,000円(材料費)+当日の観覧券	20	24	19
	多色木版の摺り体験とうちわ作り! [B]	8月19日(日) 14:00~16:00					20	25	17

事業名		日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
芳年展関連 美術講座	描いて！彫って！ 摺って！「水性多色 木版画をつくらう」	8月16日(木)～ 17日(金) 10:30～17:00 (2日制)	内山 良子 (版画家)	展覧会鑑賞と説明の後、3 版の絵柄2種から1つを選 び摺り体験をした。摺った 紙はうちわに貼りこみ持ち 帰った。	小学5年生 ～中学生	3,000 円(材 料費)	16	5	5
笠井誠一展関連 ワークショップ	貫井図書館×練馬 区立美術館ワーク ショップ「モチーフの 型を使って絵を作ろ う！組み合わせで広 がる静物画の世界」	10月21日(日) 13:30～16:30	藤田 百合 (女子美術大学 非常勤講師、エ デュケーター)	ワークシートに描かれたモ チーフを探しながら展覧会 を鑑賞し、図書館職員が 形をテーマとした絵本の読 み聞かせを行った後、笠井 作品に登場するモチーフ の型を使ってくじで引いた お題に合わせた静物画2 枚を作成した。	小学生以上	無料+ 当日の 観覧券	30	36	25
桂盛仁展関連 ワークショップ	金属の板であそぼ う！[A]	1月19日(土) 10:30～11:30	真子 みほ (当館学芸員)	展示室で象嵌について説 明し、3種類の薄い金属板 を組み合わせてレリーフを作 成した。	小学生以上	無料+ 当日の 観覧券	8	8	8
	金属の板であそぼ う！[B]	1月19日(土) 13:30～14:30					8	8	8
	金属の板であそぼ う！[C]	1月19日(土) 15:00～16:00					8	8	8
	金属の板であそぼ う！[D]	1月20日(日) 10:30～11:30					8	8	8
	金属の板であそぼ う！[E]	1月20日(日) 13:30～14:30					8	8	8
	金属の板であそぼ う！[F]	1月20日(日) 15:00～16:00					8	8	8
桂盛仁展関連 美術講座	響け槌音！「金属を たたいて器を作ろ う！」[A]	2月2日(土) 10:30～17:00	田村 尚子 (銀座メタルハー ツ主宰)	桂展鑑賞後、10cm角の錫 に透かしや彫り文様をい れ、好きな形にカットし叩い て小さな皿を作成した。	中学生以上	2,000 円(材 料費) +当日 の観覧 券	8	11	7
	響け槌音！「金属を たたいて器を作ろ う！」[B]	2月3日(日) 10:30～17:00					8	25	9
ラリック展関連 美術講座	吹きガラスで作るオリ ジナルマイグラス[A]	3月2日(土) 10:00～12:00	加倉井 秀昭 (ガラス作家)	女子美術大学の吹きガラ ス工房をお借りし、学生の サポートのもと形や大きさを 相談しながら各自吹きガラ スのグラスを制作した。	中学生以上	3,500 円(材 料費、 保険 料、本 展観覧 券付)	8	12	8
	吹きガラスで作るオリ ジナルマイグラス[B]	3月2日(土) 14:00～16:00					8	8	7
								321	240
計28回 参加者延240名									

ギャラリートーク

事業名		日程	スピーカー	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
池田龍雄展	宮田徹也によるギャ ラリートーク	5月24日(木) 15:00～	宮田 徹也 (嵯峨美術大学 客員教授)	『池田龍雄画集』(沖積社) の文献目録編纂者である 嵯峨美術大学客員教授宮 田徹也に氏によるギャラリ ートーク					38
	学芸員によるギャ ラリートーク	6月7日(木) 15:00～	喜多 孝臣 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャ ラリートーク					42
中村忠二展	東平哲弥によるギャ ラリートーク	6月30日(土) 14:00～	東平 哲弥 (画家)	中村忠二と親しくしていた 画家の東平氏と担当学芸 員によるギャラリートーク		当日の 観覧券 が必要			35
芳年展	学芸員によるギャ ラリートーク	8月30日(木) 15:00～	加藤 陽介 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャ ラリートーク					78
	学芸員によるギャ ラリートーク	9月13日(木) 15:00～	加藤 陽介 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャ ラリートーク					108

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加		
笠井誠一展	学芸員によるギャラリートーク	10月27日(土) 15:00～	真子 みほ (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク				37		
桂盛仁展	本展作家、桂盛仁によるギャラリートーク(技法編)	12月15日(土) 14:30～	桂 盛仁 (本展作家)	本展作家、桂盛仁氏によるギャラリートーク	当日の観覧券が必要			162		
	本展作家、桂盛仁によるギャラリートーク(歴史編)	1月12日(土) 14:30～	桂 盛仁 (本展作家)	本展作家、桂盛仁氏によるギャラリートーク				115		
ラリック・エレガンス展	学芸員によるギャラリートーク	4月11日(木) 15:00～	小野 寛子 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク						95
								710		
計9回 参加者延710名										

講演会、シンポジウム等

事業名	日程	講師・パネリスト	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
池田龍雄展 記念対談・講演会	記念対談 「池田龍雄を貫くもの - ルポルタージュからパフォーマンス、オブジェまで」	5月12日(土) 15:00～16:30	池田 龍雄 (本展作家) 鳥羽 耕史 (早稲田大学文学学術院教授)	安部公房や戦後文化運動の研究で知られる鳥羽耕史氏と池田龍雄氏の対談。展示内容に沿いながら、作品に共通する姿勢や、その背景を、作家本人へのインタビュー形式により探った。	中学生以上	観覧券必要 (当日以外の半券でも可)	70	74	64
	記念講演会 「池田龍雄、反芸術以後」	6月9日(土) 15:00～16:30	光田 由里 (DIC川村記念美術館学芸員)	本展図録にも寄稿頂いた日本の戦後美術研究を推進する光田氏による講演。会場には池田氏も来場し、作家本人へのインタビューを交えながら、これまでまとまった研究がなされていない池田氏の1960年代後半から70年代の仕事について論じた。	中学生以上		70	131	70
芳年展 記念講演会	記念講演会 「芳年のこと、コレクションのこと - 日本の画家として」	8月5日(日) 13:30～15:00	西井 正氣 (本展コレクター/日本画家)	本展作品所蔵者である、西井氏に芳年コレクションについて、コレクターと画家という観点、氏の芳年観を語っていただいた。	中学生以上		70	75	71
	記念講演会 「月岡芳年VS落合芳幾 - 宿命のライバル」	8月11日(土) 14:30～16:00	日野原 健司 (太田記念美術館主席学芸員)	太田記念美術館で芳年の兄弟子、落合芳幾の展示が同時期開催中のため、二人の絵師について語っていただいた。	中学生以上		70	137	61
笠井誠一展 記念対談	記念対談A 「笠井誠一の造形的姿勢について」	10月13日(土) 15:00～16:30	笠井誠一 (本展作家) 本江邦夫 (多摩美術大学教授)	笠井の画集にテキストを寄せた本江氏から、笠井氏の造形について様々な角度から質問があり、笠井氏が答えていった。	中学生以上		70	53	50
	記念対談B 「フランス留学時代の思い出」	10月20日(土) 15:00～16:30	笠井 誠一 (本展作家) 入江 観 (画家)	東京藝大の同期であり同時期にフランス留学をしていたお二人に、出会いからバリの勉強や生活について思い出をお聞きました。	中学生以上		70	61	60

事業名		日程	講師・パネリスト	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
ラリック展 特別講演会	「ルネ・ラリック、モダニティとエレガンス」	3月16日(土) 15:00～16:30	池田 まゆみ (北澤美術館主 席学芸員、美術 工芸史家)	本展監修者である池田まゆみ氏に登壇いただき、ラリックが宝飾デザインをしていたアール・ヌーヴォー時代から「ガラス」という素材に魅入られ、その後アール・デコ時代にガラス作品を制作するまで、彼の生涯とその社会情勢を交えてお話しいただいた。	中学生 以上	観覧券 必要 (当日 以外の 半券で 可)	70	127	61
								658	437
計7回 参加者延437名									

コンサート・ライブパフォーマンス

事業名		日程	出演	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
池田龍雄展関連 小林嵯峨舞蹈公演		5月18日(金) 17:00～40分程 度	小林 嵯峨 (舞踏家)	暗黒舞踏の創始者土方巽と池田龍雄は親交が深く、この縁から土方の弟子小林嵯峨の舞踏公演を開催。池田の作品(楕円空間)を起点に、池田のライフワーク(BRAHMAN)と共鳴する舞踏を繰り広げた。		当日の 観覧券 が必要			84
池田龍雄展関連 記念コンサート		5月27日(日) 15:00～16:00	近藤 伸子 (ピアノ) 佐藤 まどか (ヴァイオリン)	池田龍雄展開催に際し、展覧会の内容に関連したコンサートを実施。池田龍雄は武満徹と親交があった画家なので、クラシックから現代音楽(テクニエチュード)まで、作品のイメージを表現したコンサートとなった。		当日の 観覧券 が必要			113
池田龍雄展関連 映画上映会「薔薇の葬列」『The Painter』		5月19日(土) 14:00～17:00		池田龍雄展開催に際し、展覧会の内容に関連した映画上映会を実施。池田龍雄の個展会場が舞台の一つになる松本俊夫監督「薔薇の葬列」(1969)と、孝壽聡監督による池田龍雄のドキュメンタリー映画「The Painter」(2014)を上映した。		観覧券 が必要 (当日 以外の 半券で 可)	50	54	47
芳年展関連 長月落語会ー芳年によせて		9月2日(日) 18:30～	林家正雀 (落語家)	芳年の作品に怪談や妖怪などを題材にした作品が多く、ゆかりの催しとして落語会を開催し、怪談噺などを落語家・林家正雀氏が上演した。	中学生以上	1,500 円(本 展観覧 券付)	60	58	50
笠井誠一展関連 記念コンサート		10月7日(日) 15:00～16:00	守重 結加 (ピアノ) 山口 徳花 (チェロ)	笠井誠一展開催に際し、展覧会の内容に関連したコンサートを実施。笠井誠一の留学先であるフランスの作曲家の作品を中心に演奏した。		当日の 観覧券 が必要			112
桂盛仁展関連 特別コンサート		12月22日(土) 18:20～19:30	山崎 早登美 (ピアノ) 伊藤 万桜 (ヴァイオリン)	超絶技巧や金工に関する楽曲など、展覧会に関連した楽曲で構成されたプログラムによるコンサートを実施。		一般 1,000 円、友 の会 500円 (本展 観覧券 付)	50	70	58

事業名	日程	出演	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
ラリック・エレガンス展関連 特別コンサート	3月30日(土) 18:30～19:40	興村 奈々 (ピアノ) 森岡 聡 (ヴァイオリン)	「ラリック展」の開催に際し、 展覧会の内容に関連した コンサートを実施。展示作 品と同時期に活躍したフラン スの作曲家に焦点を当てた プログラムで楽曲を提供。キ ーワードは「パリ万博」「日 本」そして「異文化との融 合」。		1,500 円(本 展観覧 券付)	50	180	63
							362	527
計7回 鑑賞者延527名								

鑑賞プログラム

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
中村忠二展	トコトコ美術館 vol.24「むし」[A]	6月23日(土) 10:30～12:00	眞子 みほ (当館学芸員)	鑑賞(作品の中から虫探 し)、読み聞かせ(『はらべ こあむし』)の後、針金工 作(背負える蝶の羽を作 る)を行った。	3～6歳 +保護者 (子ども1～ 2名+保護者 1名)	無料 保護 者は当 日の展 覧会観 覧券が 必要	各回 5組	5組 12名	5組 11名
	トコトコ美術館 vol.24「むし」[B]	6月23日(土) 14:00～15:30						3組 6名	3組 6名
	トコトコ美術館 vol.24「むし」[C]	6月24日(日) 10:30～12:00						6組 13名	4組 8名
	トコトコ美術館 vol.24「むし」[D]	6月24日(日) 14:00～15:30						6組 13名	5組 11名
	トコトコ美術館 vol.24「むし」[E]	7月1日(日) 10:30～12:00						8組 16名	4組 8名
	トコトコ美術館 vol.24「むし」[F]	7月1日(日) 14:00～15:30						3組 6名	4組 8名
笠井誠一展	あかちゃんと家族の 鑑賞会 [A]	10月28日(日) 10:30～12:00	眞子 みほ (当館学芸員)	注意点等の説明後、あか ちゃんを抱っこした状態 で家族で観覧した。観覧中 はあかちゃんの反応をメモ してもらい、観覧後に皆さ んから様子を伝えてもらっ た。 年上のきょうだいやもうすぐ 3歳になる子には探し物 カードを渡し鑑賞ツールと して楽しんでもらった。	0～2歳の子 どもとそ の家族	無料 小学 生以上 (家族) は当日 の展覧 会観覧 券が必 要	各回 15名	6組 18名	4組 12名
	あかちゃんと家族の 鑑賞会 [B]	10月28日(日) 14:00～15:30						5組 14名	4組 10名
笠井誠一展	トコトコ美術館 vol.25「がっき」[A]	11月10日(土) 10:30～12:00	眞子 みほ (当館学芸員)	展示室で楽器が描かれて いる絵を探した後、ガラス 器と色水で楽器を作り創作 室内に配置。静物画のよう にフレームを決めて写真を 撮った。	3～6歳の 未就学児 +保護者 (子ども1～ 2名+保護者 1名)	無料 保護 者は当 日の展 覧会観 覧券が 必要	各回 5組	10組 21名	5組 12名
	トコトコ美術館 vol.25「がっき」[B]	11月10日(土) 14:00～15:30						8組 17名	4組 8名
	トコトコ美術館 vol.25「がっき」[C]	11月11日(日) 10:30～12:00						11組 27名	5組 12名
	トコトコ美術館 vol.25「がっき」[D]	11月11日(日) 14:00～15:30						11組 23名	5組 11名
桂盛仁展	トコトコ美術館 vol.26「きんぞく」[A]	1月26日(土) 10:30～12:00	眞子 みほ (当館学芸員)	金属の色に注目して作品 鑑賞し、金を探す絵本を読 み、金属の薄い板をカット しレリーフを作った。	3～6歳の 未就学児 +保護者 (子ども1～ 2名+保護者 1名)	無料 保護 者は当 日の展 覧会観 覧券が 必要	各回 5組	12組 23名	5組 12名
	トコトコ美術館 vol.26「きんぞく」[B]	1月26日(土) 14:00～15:30						12組 25名	4組 9名
	トコトコ美術館 vol.26「きんぞく」[C]	1月27日(日) 10:30～12:00						13組 26名	3組 6名
	トコトコ美術館 vol.26「きんぞく」[D]	1月27日(日) 14:00～15:30						14組 28名	5組 10名
							288名	154名	
計16回 参加者延154名									

) 美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
美術館をつかまえる!?館内探検とフラッシュ遊戯[A]	7月28日(土) 10:30~12:00	真子 みほ (当館学芸員)	美術館のぼこぼこざらざらの様々な場所に紙を当てて、色鉛筆で模様をこすり出し、集めて美術館の標本を作った。	5歳~ 小学2年生	100円 (材料費)	10	10	6	
美術館をつかまえる!?館内探検とフラッシュ遊戯[B]	7月28日(土) 14:00~15:30					10	6	6	
美術館をつかまえる!?館内探検とフラッシュ遊戯[C]	7月29日(日) 10:30~12:00					10	12	8	
美術館をつかまえる!?館内探検とフラッシュ遊戯[D]	7月29日(日) 14:00~15:30					10	10	9	
四季のみじたく37	秋のみじたく 「カラフル!秋色のろう引き紙を作ろう」	9月16日(日) 10:30~16:00	中澤 季絵 (イラストレーター)	美術館に集まり、ものづくりの「場」を参加者皆で楽しむワークショップのシリーズ。「秋のみじたく」では、様々な秋を思い浮かべながら、絵を描いたりカラージュをしてコピー機にかけ、ブックカバーや雑貨に使える秋色の「ろう引き紙」を作成した。	小学4年生以上	500円 (材料費)	16	12	11
四季のみじたく38	冬のみじたく 「パッチワークで作るカードケース」	11月18日(日) 14:00~17:00	サンカクキルト	各自が好きな布を選び、キルト芯を挟んでステッチを施す。4種類の布を縫い合わせパッチワークのカードケースを作った。	なみ縫いのできる小学4年生以上	800円 (材料費)	16	14	12
四季のみじたく39	春のみじたく 「花摘みのブローチ作り」[A]	3月10日(日) 10:30~12:30	麻生 順子 (羊毛花作家)	麻生さんが作成した様々な布花、羊毛花に加え、布花を自分の好きな色で染めた1本を組み合わせてブローチなどを作成した。	小学4年生以上	3,000円 (材料費)	10	17	10
	春のみじたく 「花摘みのブローチ作り」[B]	3月10日(日) 14:00~16:00					10	21	10
							102	72	
							計8回 延72名		

) 美術講座(知識や技術を学ぶ)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
美術講座	こま撮り人形アニメーションの作り方 お話とデモンストレーション	3月31日(日) 14:00~15:30	合田 経郎 (キャラクターデザイン) 峰岸 裕和 (ストップモーション・アニメーター)	最初のスケッチからこま撮り人形アニメーション制作の進め方をお話いただき、こまねこを実際に動かし3種類の動きをこま撮りする様子を解説付きで見せていただいた。最後は参加者からの質問に講師の二人が答えた。	新中学生以上	無料 (保育付:申込制)	50	76	66
							76	66	
							計1回 延66名		

館内事業計76回 参加者延2,206名

学校関連事業

)スクールプログラム

美術館の施設および展覧会を学校教育の学習に活用してもらうため、以下のプログラムを用意し、実施した。

団体鑑賞

展覧会	日程	内容	学校名	生徒数	引率	
池田龍雄展	6月5日(火) 11:00～14:00	パワーポイントを使い美術館と池田展についての簡単な説明の後、皆で一緒に展覧会鑑賞を行った。5日は人数も少なく時間もあつたため、搬入口と収蔵庫も見学した。	東京都立志村学園 肢体不自由教育部門中学部	2	2	
	6月12日(火) 11:00～14:00		東京都立志村学園 肢体不自由教育部門中学部	7	9	
芳年展	9月13日(木) 11:05～11:45	浮世絵と芳年についての解説後、自由鑑賞を行った。	練馬区立石神井東小学校・5年生	64	4	
笠井誠一展	10月18日(木) 10:10～11:10	10月の出張授業を受け、学校の用意したワークシートに書き込みながら展覧会を鑑賞した。	ベネッセ氷川台保育園・年長組	11	3	
	10月18日(木) 13:20～14:10		山崎学園富士見中学校・2年松組	37	2	
	10月18日(木) 14:20～15:10		山崎学園富士見中学校・2年竹組	40	2	
	10月27日(土) 11:45～12:15		山崎学園富士見中学校・2年菊組	39	1	
	10月30日(火) 13:20～14:10		山崎学園富士見中学校・2年桃組	39	2	
	10月30日(火) 14:20～15:10		山崎学園富士見中学校・2年桜組	41	1	
	10月25日(木) 10:00～11:30		各クラスでバックヤード見学および笠井展の解説と、2点以上の作品に登場するモチーフを見つけて描き込む「探し物カード」を使った自由鑑賞を交互に行った。	練馬区立八坂小学校・4年生	80	4
	11月8日(木) 14:20～15:10		10月の出張授業を受け、学校の用意したワークシートに書き込みながら展覧会を鑑賞した。	山崎学園富士見中学校・2年梅組	40	1
	11月20日(火) 13:50～15:15		美術館の紹介と笠井展の解説後、2回以上登場するモチーフを探しながら展覧会を鑑賞した。モチーフを描いたシートを切り抜き、お題に合った静物画を作成した。	練馬区立練馬第三小学校・5年生	63	4
桂盛仁展	1月22日(火) 9:45～11:00	パワーポイントを使って美術館の役割紹介と、金工の話をした後、1クラスは上階の図工展鑑賞、もう1クラスは桂展の鑑賞をし(好きなものを見つけてメモするシートを学校が用意)、20分後に交代した。	練馬区立立野小学校・5年生	80	4	

展覧会	日程	内容	学校名	生徒数	引率
ラリック・エレガンス展	2月26日(火) 9:30～11:30	創作室で美術館とラリックの説明を行った後、各自自由鑑賞をしながらアールヌーヴォーとアールデコそれぞれの好きな模様をシートにスケッチした。	練馬区立豊玉小学校・6年生	84	5
	3月1日(金) 14:00～15:00	1月にアールヌーヴォーとアールデコについての事前授業を受けた後、実際にラリック展を鑑賞した。	練馬区立貫井中学校・2年1組	30	1
	3月1日(金) 14:00～15:00		練馬区立貫井中学校・2年2組	30	1
	3月1日(金) 14:00～15:00		練馬区立貫井中学校・2年3組	29	1
	3月14日(木) 13:50～15:00		練馬区立貫井中学校・2年4組	31	1
	3月14日(木) 13:50～	ラリック展を鑑賞した後、学校のマルチルームで針金を使ってアクセサリーを作った。	練馬区立練馬第三小学校5年生	65	5
				812	53
				計19回 延865名	

施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介した。

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	引率
施設見学	5月8日(火) 13:30～14:30	バックヤード見学と展示室の設備紹介。展覧会は自由鑑賞を行った。	日本大学芸術学部	25	1
	5月11日(金) 13:30～14:30		日本大学芸術学部		1
	5月29日(火) 13:00～14:00		東京造形大学	22	1
	10月30日(火) 10:30～11:30		練馬区立関中学校・1年生	10	0
	11月24日(土) 10:30～11:30		武蔵大学	21	0
	12月22日(土) 10:00～10:30		東洋美術大学	5	0
	2月5日(火) 10:30～12:00	まちたんけんの一環として、学芸員が質問に答え、バックヤードと展示室の案内を行った。	練馬区立練馬第三小学校・2年生	10	3
	2月26日(火) 13:30～14:30	地域の宝物探しの一環で、学芸員が質問に答え、バックヤードと展示室の案内を行った。	練馬区立練馬第三小学校・3年生	4	1
				97	7
				計8回 延104名	

職場体験・訪問 受付や監視、事務、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝えた。

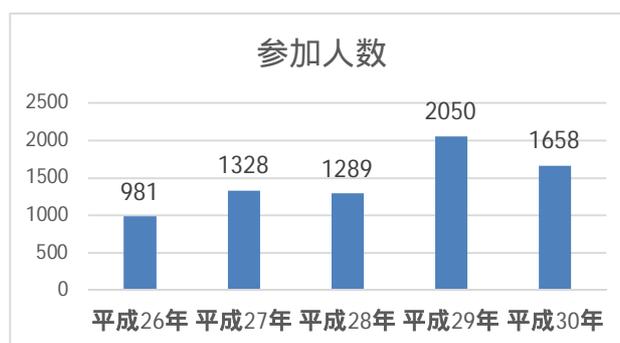
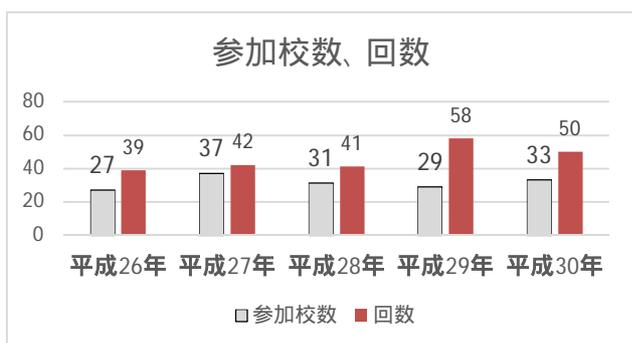
コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数
職場体験	7月25日(水) ～26日(木) 9:30～15:00	7月18日(水) 17:30～	東京学芸大学付属大泉国際中等教育学校・2年生	3
	7月26日(木) ～27日(金) 9:30～15:00	7月11日(水) 14:30～	練馬区立開進第三中学校・2年生	3
	9月11日(火) ～12日(水) 9:30～15:00	9月4日(水) 14:30～	練馬区立関中学校・2年生	3
	9月12日(水) ～13日(木) 9:30～15:00	9月6日(木) 16:00～	練馬区立光が丘第三中学校・2年生	2
		9月6日(木) 15:30～	練馬区立開進第一中学校・2年生	3
		7月12日(金) 15:00～	練馬区立練馬中学校・2年生	2
	11月8日(木) ～9日(金) 9:30～15:00	8月1日(金) 13:30～	練馬区立光が丘第二中学校・2年生	2
	1月23日(水) ～24日(木) 9:30～15:00	12月13日(木) 15:00～ 1月17日(木) 15:00～	練馬区立中村中学校・1年生	3
1月31日(木)～ 2月1日(金) 9:30～15:00	1月17日(木) 15:30～	練馬区立開進第二中学校・1年生	3	
				24
計9回 延24名				

出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをした。

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	教員
出張プログラム	7月9日(月) 9:40～10:25	美術館の紹介、 所蔵品カードで 探し物ゲームを 実施。所蔵品 カードの中から2 ～3枚選び展覧 会企画(A4程度 の紙にまとめる) を行った。	練馬区立春日小学校・5年1組	27	1
	7月9日(月) 10:50～12:25		練馬区立春日小学校・5年2組	26	1
	7月13日(金) 8:50～9:35	美術館の紹介、 所蔵品カードで 探し物ゲームを 実施。 「な夏」とい うテーマで班で カードを3枚選 び発表した	練馬区立八坂小学校・3年1組	31	1
	7月13日(金) 9:40～10:25		練馬区立八坂小学校・3年2組	32	1
	7月13日(金) 10:30～11:15		練馬区立八坂小学校・3年3組	32	1
	9月14日(金) 13:45～15:20	美術館の紹介、 所蔵品カードで 探し物ゲームを 実施。所蔵品 カードの中から2 ～3枚選び展覧 会企画(A4程度 の紙にまとめる) を行った	練馬区立春日小学校・6年生	25	1
	10月10日(水) 10:50～11:30	パワーポイントを 使って美術館の 紹介と笠井展に ついてお話しし た。	山崎学園富士見中学校・2年生	244	3
	11月14日(水) 10:40～11:30 11:40～12:30	パワーポイントを 使って学芸員や 美術館の役割に ついてお話しし た。	都立大山高校・1～2年生	51	2

	日程	内容	学校名	生徒数	教員
出張プログラム	12月7日(金) 8:40～10:20	大沢昌助(公園)を話をしながら鑑賞し、タイトルを考えた。1作品のタイトルを考えた後は所蔵品カードを広げ、各自が3点以上を組み合わせて展覧会企画を考えた。	練馬区立富士見台小学校・5年生1組	31	2
	12月7日(金) 10:40～12:20		練馬区立富士見台小学校・5年生2組	31	2
	1月10日(木) 9:50～10:40	2つの作品グループを見せ、それぞれのグループに合う言葉を書き出してもらい掲示。その言葉を広げながらパワーポイントでアールヌーヴォーとアールデコの解説を行った。	練馬区立貫井中学校・2年1組	30	1
	1月12日(土) 10:50～11:40		練馬区立貫井中学校・2年2組	30	1
	1月16日(水) 9:50～10:40		練馬区立貫井中学校・2年3組	31	1
	1月18日(金) 9:50～10:40		練馬区立貫井中学校・2年4組	25	1
				646	19
				計14回 延665名	

スクールプログラム 計33校50回 参加児童・生徒・学生 延1,658名



）ティーチャーズディ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設けた。各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とした。

展覧会名	日程	参加人数
池田龍雄展	5月15日(火) 15:30～	13
中村忠二展	7月3日(火) 15:30～	4
芳年展	8月7日(火) 15:30～	3
笠井誠一展	10月16日(火) 15:30～	7
桂盛仁展	12月4日(火) 15:30～	6
ラリック・エレガンス展	2月26日(火) 15:30～	7
		40
		計6回 延40名

）スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)の貸し出しを行った。これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成したものの。

本年度の貸し出し なし

その他

）団体鑑賞(一般)

一般団体から展覧会解説の要望があった場合、申込用紙に記入頂いたうえで、各担当学芸員が担当し実施した。

展覧会	在館日時	担当	団体名	代表者氏名	参加者
池田龍雄展	5月23日(水) 16:30～17:00	喜多	東京都中学校美術教育研究会	江川誠志	10
中村忠二展	7月19日(木) 10:40～12:30	真子	調布市民カレッジ(大人の時間の美術館めぐり)	櫻田清樹	6
芳年展	9月13日(木) 11:00～12:30	加藤	ねりマシニアネットワーク	会長 渋井良郎	20
					36
					計3回 延36名

）インターン等受入

インターンおよび教員研修等の受入れ

事業名	受入日	学校・団体名	参加者
練馬区立小中学校教職員10年目研修受入	8月9日(木)・10日(金)	八坂小学校教員	1
インターン受入	12月15日～1月22日のうち 3日間ずつ	桜美林大学4年生	2
			3
			計2回 延3名

平成30年度 博物館実習受入実績

実習実施期間

平成30年9月13日(木)～9月21日(金) 全6日間

9月16日、17、18日を除く

No	大学名	学部等	人数
1	武蔵野美術大学	造形学部 基礎デザイン学科	1名
2	多摩美術大学	美術学部 グラフィックデザイン学科	1名
3	お茶の水女子大学	生活科学部 人間生活学科	1名
4	実践女子大学	文学部 美学美術史学科	1名
5	武蔵大学	人文学部 ヨーロッパ文化学科	1名
6	女子美術大学	芸術学部 美術学科	1名
合 計			6名

(前年度10名)

平成30年度 美術館サポーター(ボランティア)活動実績

「美術館サポーター」は、平成17年8月からスタートしたボランティア活動(1年更新)で、美術館事業の一部(チラシ発送作業・新聞資料作成・イベントの手伝い等)を担ってもらうボランティア活動である。

平成30年度は総勢37名のサポーターが各展覧会の事業補助や新聞切り抜き作業などに従事している。

サポーター活動の実績 平成30年4月～平成31年3月

展覧会等	活動内容	活動日数	延べ人数
戦後美術の現在形 池田龍雄展 - 楯円幻想	会場整理等イベント補助	2日	2名
生誕120年オオイナルシュウ ネン 中村忠二展	会場整理等イベント補助	0日	0名
芳年 - 激動の時代を生きた鬼 才浮世絵師	会場整理等イベント補助	2日	3名
笠井誠一展 - 形の世界 -	会場整理等イベント補助	1日	1名
「人間国宝・桂盛仁 金工の 世界」	会場整理等イベント補助	0日	0名
練馬区民美術展	会場整理等イベント補助	4日	42名
ラリック・エレガンス=宝飾 とガラスのモダニティ	会場整理等イベント補助	0日	0名
練馬区ゆかりの作家調べ		12日	98名
サポーター通信「階(きざはし)」編集		12日	60名
新聞切り抜き資料作成		41日	470名
懇談会(館長出席)		1日	19名
合 計		75日	695名

(平成29年度 74日 延691名)

(3)美術作品の収集事業

平成30年度 美術作品の収蔵状況

(平成31年3月31日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28								317	28	573	601
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3		191	191
23		8		13								1		123		145	145
24		32		10		33										75	75
25															0	0	0
26		13	1	422		215						22		2084	1	2756	2757
27		5		97		112		25						18	0	257	257
28		25		22												47	47
29															0	0	0
30		5		11		25								15		56	56
合計	31	299	190	1439	75	910	1	32	0	1	1	44	1	2576	299	5301	5600

平成31年3月31日現在
寄託作品 1,890 点

購入・寄贈・寄託計 7,490点

平成30年度練馬区立美術館寄贈・寄託等リスト

(1)購入作品 なし

(2)寄贈作品 54点

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	吹田文明	海の星座	1966	木版、紙	61.0×45.0
2	吹田文明	虹は花の色を盗んで咲く	1968	木版、紙	60.3×73.5
3	吹田文明	北方の星座	1970	木版、紙	92.2×61.0
4	吹田文明	暮色	1970	木版、紙	91.5×60.8
5	吹田文明	双子座	1971	木版、紙	44.7×58.8
6	吹田文明	えびかに座	1971	木版、紙	44.8×58.5
7	吹田文明	海と空と星と	1973	木版、紙	91.4×60.5
8	吹田文明	蝶行く	1978	紙版・木版・シルクスクリーン、紙	53.6×42.0
9	吹田文明	虹色のりんご	1981	木版、紙	55.1×41.8
10	吹田文明	赤い空	1983	木版、紙	88.5×59.0
11	吹田文明	悲しみの二ケ()	1983	木版、紙	60.0×89.8
12	吹田文明	蝶と虹 A	1983か	紙版・木版、紙	68.5×60.0
13	吹田文明	未明	1984	木版、紙	65.2×45.6
14	吹田文明	華	1990	紙版・木版、紙	88.5×59.0
15	吹田文明	捕らわれた虹	1994	木版・ひも、紙	59.7×68.8
16	吹田文明	華々	1994	木版、紙	51.0×40.0
17	吹田文明	南の夜明け(戦後50年の鎮魂歌)	1995	木版、紙	87.9×59.7
18	吹田文明	祈り	1999	木版、紙	89.5×60.0
19	吹田文明	7月14日パリ祭の夜	2004	木版、紙	88.9×59.5
20	吹田文明	僕はNOネクタイ	2010か	木版、紙	89.5×60.0
21	小野木学	『のんちゃんのけいとだま』挿絵原画	1968年	水彩、コラージュ・紙 19枚	30.0×46.0
22	小野木学	『さよならチフロ』挿絵原画	1969年	水彩・紙 21枚	27.0×39.5

23	朝倉撰	《群像》デッサン (1)	1950頃	鉛筆・パステル、紙	27.0×38.2
24	朝倉撰	《群像》デッサン (2)	1950頃	パステル、紙	27.0×38.6
25	朝倉撰	《群像》デッサン (3)	1950頃	鉛筆・パステル、紙	27.2×37.9
26	朝倉撰	《群像》デッサン (4)	1950頃	パステル、紙	27.2×38.8
27	朝倉撰	《群像》デッサン (5)	1950頃	パステル、紙	27.2×38.0
28	朝倉撰	《群像》デッサン (6)	1950頃	パステル、紙	27.2×38.7
29	朝倉撰	《群像》デッサン (7)	1950頃	鉛筆・パステル、紙	25.0×31.6
30	朝倉撰	スケッチブック	1942.2.15～6.18	鉛筆パステル、ほか	37.0×29.5
31	麻田浩	原風景	1975	油彩、カンヴァス	150.0×150.0
32	麻田浩	緑の風景	1976	油彩、カンヴァス	130.0×130.0
33	麻田浩	地のもろもろ(昼)	1989	油彩、カンヴァス	145.0×228.0
34	麻田浩	地のもろもろ(夜)	1989	油彩、カンヴァス	145.0×228.0
35	麻田浩	蕩児の帰宅(トリプティックのための)	1988	油彩、カンヴァス	194.0×259.0
36	四方田草炎	牛	不明	鉛筆・水彩、紙	25.3×27.2
37	松下宣廉	すがくる鳥	1968	紙本着色	91.0×116.7
38	中村善策	青嵐	1980	油彩、カンヴァス	65.0×100.0
39	小野具定	早春利尻	不明	紙本着色	100×136(額寸)
40	中村忠二	練馬方面	1936年	油彩・キャンバス	50.0×65.2
41	中村忠二	絵を描く子供達	1960年	モノタイプ・紙	64.0×52.5
42	中村忠二	石神井公園三宝寺池	1953年	水彩・紙	12.7×17.3
43	中村忠二	墨洋会冊子『墨洋』 30号		水彩、モノタイプほか	42.0×29.8
44	尾関立子	UNCOIL		エッチング、アクアチント・紙	198.7×148.0
45	尾関立子	PLENTY		エッチング、アクアチント・紙	199.0×149.2
46	尾関立子	RETRAINED HEAT		エッチング、アクアチント・紙	148.5×194.5
47	尾関立子	MELT		エッチング、アクアチント・紙	198.6×148.8

48	奥村美佳	小憩	2007年	紙本着彩	162.3×130.0×1.9
49	奥村美佳	風渡る	2013年	紙本着彩	130.5×162.2×1.9
50	浦久保義信	白砂青松	制作年不詳	油彩・キャンバス	50.0×60.5
51	中村宏	サムライ	1963年頃	油彩・キャンバス	45.8×52.2
52	池田龍雄	(題不詳)	1955年	インク、水彩・紙	28.5×37.5
53	笠井誠一	キウイのある卓上静物	1983年	油彩・キャンバス	72.7×90.9
54	笠井誠一	玩具と鉛筆立てのある卓上静物		油彩・キャンバス	72.7×90.9

(3) 寄贈資料 1点

1	朝倉撰	朝倉撰ポートレート	1950頃	写真	
---	-----	-----------	-------	----	--

(4) 寄託作品 4点

1	中村忠二	門のある風景	1935年	木炭・紙	56.9×75.0
2	中村忠二	霜の花	1951年	水彩・紙	51.5×74.5
3	中村忠二	遠い歌B	1968年	モノタイプ・紙	104.4×68.6
4	中村忠二	透明体	1968年	モノタイプ・紙	105.0×68.7

(5) 寄託資料 なし

(6) その他 移管作品 1点

1	早川芳彦	春	1934年	絹本着彩	240.0×140.0
---	------	---	-------	------	-------------

平成30年度 収蔵品貸出一覧

7施設の展覧会に、計23作品の貸し出しを行った。

	貸出施設	展覧会名	会期	貸出作品
1	浜松市秋野不矩美術館	絵本に見る日本画 展	4月20日～ 6月20日	朝倉摂(群像) 油彩・キャンバス
2	ポーラ美術館	ルドン ひらかれた夢 展	7月22日～ 12月2日	オディロン・ルドン(キリスト) リトグラフ 他3点
3	アーツ前橋	岡本太郎 今日の芸術 絵はすべての人の創るもの 展	10月5日～ 1月14日	高松次郎(影) アクリル・キャンバス
4	横浜美術館	駒井哲郎 煌く紙上の宇宙	10月13日～ 12月16日	駒井哲郎(仏国) エッチング・紙 他7点
5	碧南市藤井達吉現代美術館 富山水墨画美術館	愉しきかな! 人生 - 老当益壯の画人たち 展	10月11日～ 3月20日	野見山暁治(青年) 油彩・キャンバス 他1点
6	大川美術館	松本竣介 アトリエの時間	10月2日～ 12月15日	靉光(花と蝶) 油彩・キャンバス 他2点
7	渋谷区松涛美術館	終わりのむこうへ 廃墟の美術史	11月22日～ 2月22日	大沢昌助(真昼) 油彩・キャンバス 他3点

平成30年度美術館収蔵品データベースに対する反響

当館ホームページでは企画展の見どころや教育普及事業の情報などを随時公開しており、多くの方に利用いただいている。

また収蔵品についても平成17年にデジタルデータ化し、学校教育や生涯学習等、利用機会の拡充を行った。平成24年にはデータベースを新システムに更新し、常時インターネットより7,000点に及ぶ当館収蔵品を検索・閲覧可能とした。

平成30年度の収蔵品データベースへのアクセス件数

	データベース（件）	
4 月	691	件
5 月	677	件
6 月	628	件
7 月	714	件
8 月	758	件
9 月	593	件
10 月	762	件
11 月	628	件
12 月	645	件
1 月	717	件
2 月	512	件
3 月	597	件
合 計	7,922	件
平 均	660	件 / 月
(平成29年度	8,656	件)

(4) 施設利用状況

平成30年度 施設利用状況

展示室

区 分	展覧会 回 数	利用日数 (日)	観覧者数 (人)	利用可能日数 (日)	利用率 (%)
一般展示室	50	247	20,236	259	95.4
企画展示室	7	35	4,586	54	64.8
合計	57	282	24,822	313	90.1
(平成29年度)	50	277	27,695	315	87.9

創作室

利用団体	利用件数(件)	月平均 件数(件)	利用人数 (人)	利用可能件数 (件)	利用率 (%)
15	278	23	4,742	376	73.9
(平成29年度)	308	26	5,117	405	76.0

施設申込状況

区 分		年度総件数	月平均件数	倍 率
一般展示室	申込	82	6.8	最高 3.75倍
	当選	44	3.7	平均 1.86倍
企画展示室	申込	4	-	12月の一部貸出 抽選は平成30年6月に 行った。 倍率 1.00倍
	当選	4	-	

展示室の抽選は利用日の6ヶ月前

(5) 広報活動と反響

「戦後美術の現在形 池田龍雄展 楢円幻想」

(平成30年4月26日～平成30年6月17日)

<p><テレビ> J:COM「デイリーニュース(練馬・新座・和光)」 5月2日放送 NHK「日曜美術館 アートシーン」5月20日放送</p>	
<p><新聞> 【署名記事】 東京新聞 4月27日夕刊 朝日新聞 5月1日夕刊 読売新聞 5月17日朝刊 毎日新聞 5月23日夕刊 6月9日(富山) 産経新聞 5月24日朝刊 佐賀新聞 5月4日 新かながわ 5月13日 定年時代 6月4日 しんぶん赤旗 6月4日 西日本新聞 6月7日</p>	<p>【その他】 朝日新聞 1月7日朝刊、4月17日夕刊、 4月21日朝刊、4月24日夕刊 4月27日 夕刊 5月15日朝刊 日本経済新聞 4月27日夕刊 読売新聞 5月15日夕刊 新美術新聞 3月21日、6月1日 The Japan Times 4月25日 いきいき新聞 5月1日 栃木よみうり 5月18日 定年時代 6月4日</p>
<p><美術雑誌> 「美術の杜」Vol.46 Spring 「美術の窓」5月号 「月刊美術」5月号 「月刊アートコレクターズ」5月号 「月刊ギャラリー」5月号 6月号</p>	<p><雑誌> 「トーキンヘッズ」No.74</p>
<p><地域情報誌・フリーペーパー> 池袋びいーゆ 5月号 池袋15` 6月号 武州路 6月号 がいこつ亭 6月号 vol.94</p>	
<p><WEB> ホルベインアーティストナビ 個展なび アートアジェンダ 練馬情報メール インターネットミュージアム Walker Plus ウェブ「美術手帖」EXHIBITIONS コーナー 東京観光財団ニューヨークプレスリリース 美術 Academy & School ブログ</p>	<p>ギャラリーときの忘れもの(喜多学芸員コラム) G-Call SPICE(イープラス) Share Art ART NAVI 練馬経済新聞 web MIRAI ちょっと先のミライを探しに行こう ぴあ映画生活/アートニュース ARTLOGUE ウェブ版美術手帖(中ザワヒデキレビュー)</p>

<その他>

練馬区報 4月21日号

NERICUL 2018 SPRING Vol.9

庁内モニター・区公式ツイッター

貫井図書館だより 5月号 Vol.30

貫井図書館美術パスファインダー Vol.20

練馬放送インターネットラジオ「練馬アート+ミュージアム」

4月22日・5月13日・5月27日・6月10日放送

「生誕120年 中村忠二展 オオイナルシュウネン」

(平成30年6月22日～平成30年7月29日)

<テレビ>

J:COM「デイリーニュース(練馬・新座・和光)」 6月29日放送

NHK「日曜美術館 アートシーン」7月8日放送

<新聞>

【署名記事】

毎日新聞 遊ナビ 2018年7月6日朝刊

産経新聞 2018年7月15日朝刊

朝日新聞 2018年7月24日夕刊

【その他】

東京新聞 美術館・博物館 2018年6月21日朝刊

毎日新聞 美術館ガイド 2018年6月29日・7月6日・20日朝刊

朝日新聞 美術館・博物館 2018年6月19日夕刊・7月17日夕刊

日本経済新聞 マンスリーミュージアム 2018年7月5日夕刊

読売新聞 2018年7月3日・17日・24日夕刊

<美術雑誌>

新美術新聞 6月21日号

月刊美術 2018年7月号

美術の窓 2018年7月号

月刊ギャラリー 2018年7月号

<雑誌>

月刊絵手紙 2018年7月号

<地域情報誌・フリーペーパー>

ぱど 2018年7月6日号

<WEB>

G-CALL

ウォーカープラス

ホルベインアーティストナビ

アートアジェンダ

MIRAI ちょっと先のミライを探しにいこう

今見られる全国のおすすめ展覧会 100

by KATYCOM

ART NAVI

他

< その他 >

練馬区報 6月11日号
貫井図書館だより
貫井図書館美術パスファインダー
NERICUL 2018 SPRING Vol.9
NERICUL 2018 SUMMER Vol.10
庁内モニター・区公式ツイッター

「芳年 - 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師」

(平成30年8月5日～平成30年9月24日)

< テレビ >

J:COM「デイリーニュース(練馬・新座・和光)」 8月16日放送

< 新聞 >

【署名記事】

河北新報 2018年9月4日朝刊 文化面
京都新聞 2018年9月5日朝刊 文化面
新潟日報 2018年9月5日朝刊 文化面
岩手日報 2018年9月6日朝刊 文化面
山形新聞 2018年9月6日朝刊 文化面
徳島新聞 2018年9月7日朝刊 文化面
熊本日日新聞 2018年9月8日朝刊 文化面
茨城新聞 2018年9月9日朝刊 文化面
宮崎日日新聞 2018年9月11日 文化面
共同通信より配信された記事を掲載
日本経済新聞 2018年9月5日朝刊 文化面
毎日新聞 2018年9月12日夕刊 連載コラム「目は語る」高階秀爾
読売新聞 2018年9月11日夕刊 文化面
産経新聞 2018年9月20日朝刊 文化面
朝日新聞 2018年10月2日夕刊 連載コラム「美の季想」高階秀爾

【一覧】

東京新聞 美術館・博物館 2018年8月2日朝刊
毎日新聞 美術館ガイド 2018年8月3日・10日・17日朝刊
朝日新聞 美術館・博物館 2018年8月21日夕刊
夕刊マリオン欄 2018年7月31日
日本経済新聞 日経からのお知らせ 2018年7月30日 共同主催での掲載
マンスリーミュージアム 2018年8月2日夕刊(追記)
がいどガイドワイド 2018年8月10日(追記)
アートライフ 2018年8月20日 共同主催での掲載 (追記)
読売新聞 2018年8月7日・14日・21日・28日夕刊
信濃毎日新聞 2018年8月2日朝刊 週間ガイド東京ぐるりなび

<p>東武よみうり 2018年7月23日 定年時代 2018年8月下旬号 毎日新聞 美術館ガイド(金曜朝刊) 2018年9月7日 朝刊 朝日新聞 美術館・博物館(火曜夕刊) 2018年9月4日夕刊 日本経済新聞 マンスリーミュージアムガイド(木曜夕刊) 2018年9月6日 夕刊</p>	
<p><美術雑誌> 新美術新聞 8月1・11日号 美術の窓 2018年8月号 月刊ギャラリー 2018年8月号 一枚の繒 8月号 芸術新潮 8月号 美術の窓 2018年9月号 アートコレクターズ 10月号</p>	<p><雑誌> 美術展びあ 2018年秋冬号 ひととき 2018年8月号 ひらがなタイムズ 2018年8月号 UP PLUS 2018年8月号 婦人画報 2018年8月号 トーキングヘッズ叢書 No.75 サクセス15 2018年8月号 月刊武州路 2018年8月号 月刊 中央公論 10月号</p>
<p><地域情報誌> びいーゆ 2018年8月1日号 メディ・あさお 2018年7月25日号</p>	<p>月刊 Kacce サンケイリビング 2018年8月4日号 多摩地域のタウン紙「asacoco」2018 タイムアウト東京 9月12日号</p>
<p><WEB> G-CALL アートアジェンダ インターネットミュージアム モモモサーバー ShareArt びあ映画生活/アートニュース ジーエーピー ご当地歴史メディア・ユカリノ</p>	<p>ART NAVI 個展なび ウィーカープラス ARTLOGUE トコト サライ.jp 日経ビジネスオンライン 美術 ACADEMY&SCHOOL ウェブ「美術手帖」EXHIBITIONS コーナー</p>
<p><その他> 練馬区報 7月11日号・21日号 貫井図書館だより 貫井図書館美術パスファインダー NERICUL 2018 SUMMER Vol.10 庁内モニター・区公式ツイッター・区公式 Facebook ねりまファミリーパック 8月号 インターネットラジオ「練馬アート+ミュージアム」本放送：2回 リポート放送：6回 (毎週土曜日 11:48～11:58、毎週土曜日 17:46～17:58、毎週火曜日 21:48～21:58、毎週水曜日 19:18～19:28)</p>	

「笠井誠一展 - 形の世界 - 」

(平成30年10月7日～平成30年11月25日)

<p><テレビ> J:COM デイリーニュース (練馬・新座・和光) 8月16日放送、10月18日放送</p>	
<p><新聞> 【署名記事】 東京新聞 今年の事業 2018年1月4日朝刊 東京新聞 9月26日朝刊、10月1日朝刊、10月7日朝刊(2箇所)、10月20日朝刊、 10月23日朝刊、10月25日朝刊、10月31日朝刊、11月1日朝刊、11月2日朝刊、 11月9日朝刊、11月13日朝刊 11月16日朝刊 【一覧】 毎日新聞 9月28日朝刊 朝日新聞 10月2日夕刊 日本経済新聞 10月4日夕刊 読売新聞 10月23日夕刊、10月30日夕刊 東京新聞 11月13日朝刊 読売新聞 11月13日夕刊、11月20日夕刊</p>	
<p><美術雑誌> 美術の窓 10月号 アートコレクターズ 10月号 月刊美術 10月号 新美術新聞 10月1日号、10月21日号 11月1日号、11月21日号 月刊 Kacce 10月号</p>	<p><雑誌> Seoul Art Guide (Kim daljim 研究所) 月刊 Kacce 10月号 月刊「武州路」 IKEBUKURO「びいーゆ」10月1日号</p>
<p><地域情報誌> びいーゆ 2018年8月1日号 メディ・あさお 2018年7月25日号 月刊 Kacce</p>	<p>サンケイリビング 2018年8月4日号 多摩地域のタウン紙「asacoco」2018 タイムアウト東京 9月12日号 情報誌ぱど(11月2日号)</p>
<p><WEB> ジーエーピー 美術館・博物館情報サイトアートアジェンダ インターネットミュージアム ShareArt</p>	<p>個展ナビ ホルベインアーティストナビ GOTOKYO ぴあ映画生活/アートニュース WEBサイト「ウォーカープラス」 ウェブ「美術手帖」EXHIBITIONS コーナー</p>
<p><その他> 練馬区報 9月21日号 練馬区庁内モニター広告 ねりまほっとライン(9月25日～) 新美術新聞 10月1日号(12P タブロイド版) 練馬区公式フェイスブック 練馬区公式ツイッター 駅貼り(京王線)新宿、吉祥寺、渋谷 貫井図書館だより 11月号</p>	

WEB 美術 ACADEMY&SCHOOL

インターネットラジオ「練馬アート+ミュージアム」(毎週土曜日 11:48~11:58、毎週土曜日 17:46~17:58、毎週火曜日 21:48~21:58、毎週水曜日 19:18~19:28)(本放送：2回 リピート放送：6回)

「人間国宝・桂 盛仁 金工の世界 江戸彫金の技」

(平成30年12月1日~平成31年2月11日)

<p><テレビ> J:COM デイリーニュース(練馬・新座・和光) 12月13日放送</p>	
<p><新聞> 【署名記事】 読売新聞 1月22日夕刊 中日新聞 1月19日日刊 【一覧】 朝日新聞 12月11日夕刊、12月25日夕刊、1月15日夕刊、1月29日夕刊 毎日新聞 12月7日朝刊、12月21日朝刊 日本経済新聞 12月7日夕刊、1月10日夕刊 読売新聞 1月8日夕刊、1月15日夕刊、1月22日夕刊、1月29日夕刊</p>	
<p><美術雑誌> 月刊ギャラリー1月号 美術の窓1月号</p>	<p><雑誌></p>
<p><地域情報誌> ばど 石神井公園・中村橋 12月1日号 Kyodo Weekly 2018年12月31日 No.53 エコチル 東京版1月号 定年時代 2019年1月7日</p>	
<p><WEB> SPICE アートアジェンダ ホルベインアーティストナビ ウォーカープラス</p>	<p>ウェブ「美術手帖」EXHIBITIONS コーナー リビング東京 web ARTLOGUE 美術展ナビ</p>
<p><その他> インターネットラジオ練馬放送「練馬アート+ミュージアム」(毎週土曜日 11:48~11:58、毎週土曜日 17:46~17:58、毎週火曜日 21:48~21:58、毎週水曜日 19:18~19:28)(本放送：2回 リピート放送：6回)</p>	

「ラリックエレガンス = 宝飾とガラスのモダニティー - ユニマットコレクション - 」

(平成 31 年 2 月 24 日 ~ 平成 31 年 4 月 21 日)

<p>< 新聞 ></p> <p>📄 記事</p> <p>毎日新聞 2 月 22 日朝刊 3 月 8 日 夕刊 3 月 15 日 夕刊</p>	<p>📄 一覧</p> <p>東武よみうり 1 月 7 日 染織文庫 2 月 10 日 朝日新聞 2 月 19 日夕刊 東京新聞 2 月 21 日朝刊 asacoco 2 月 21 日 毎日新聞 2 月 14 日、2 月 20 日 首都圏版「遊ナビ」 2 月 22 日 リビング新聞 2 月 23 日 日経新聞 3 月 7 日夕刊 足立朝日新聞 3 月 5 日 とちよみ 3 月 8 日 上毛新聞 3 月 8 日</p>
<p>< 雑誌 ></p> <p>懸賞なび 3 月号 エール 1 月 1 日発売号 IZANAGI 2 月号 anan 2/20 発売号 びいーゆ 3/1 発売号 Oz Magazine 3 月 19 日発売号 目の眼 3 月 15 日発売号 月刊美術 3 月 20 日</p>	<p>< フリーペーパー ></p> <p>Confetti(カンフェティ) 2 月号 vol.170 メディ・あさお 2 月号 no.206 武州路 3 月号 リビング新聞 2 月 23 日 viva! Amigo 3 月 1 日</p>
<p>< W E B ></p> <p>G-Call SPICE(e-plus) Share Art アートアジェンダ 個展なび Brand Jewelry Web ウォーカープラス ホルベインアーティストナビ インターネットミュージアム artscape トコト 日本美術倶楽部</p>	<p>ウーマンライフ web 版 JR 東海ツアーズ「東京ガイドマップ」 ウェブ版美術手帖 MIRAI ちょっと先のミライを探しに行こう 練馬経済新聞ウェブ ぴあポイント コンフォルトウェブマガジン web 版月刊 ezpress 3 月号 La vie pianissimo 美術 Academy & School ブログ キナリノ タイムアウト東京 朝日新聞 Re ライフネット</p>

<その他>

東京医師歯科医師協同組メールマガジン

インターネットラジオ練馬放送「練馬アート
+ ミュージアム」(毎週土曜日 11:48 ~
11:58、毎週土曜日 17:46 ~ 17:58、毎週火曜
日 21:48 ~ 21:58、毎週水曜日 19:18 ~
19:28)

リゾートトラスト株式会社 東京ベイコート倶楽部会
員ウェブサイト

2 令和元年(平成31年)度 事業計画

(1) 展覧会事業日程

3階展示室			2階展示室		
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当
4月28日 6月9日 <38日間>	【有料】 くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展				真子
6月14日 6月23日 <9日間>	【無料】 第65回練馬区美術家協会展		6月14日 7月4日 <18日間>	【無料】 ふえるコレクション、かわるコレクション	喜多
6月25日 7月13日 <13日間>	(一般貸出)		7月5日 7月12日 <9日間>	(一般貸出)	
7月14日 9月16日 <56日間>	【有料】 没後50年 坂本繁二郎展				加藤
9月29日 11月24日 <49日間>	【有料】 エドワード・ゴリーの優雅な秘密				小野
12月1日 1月9日 <30日間>	(一般貸出)				真子
1月11日 1月15日 <4日間>	中学校生徒作品展		11月30日	【無料】 没後10年 品川工展 組み合わせのフォルム	
1月18日 1月23日 <5日間>	小学校連合同工展		 2月9日		
1月25日 1月26日 <2日間>	小中学校連合書きぞめ展		<57日間>		
2月1日 2月9日 <8日間>	【無料】 第51回練馬区民美術展				
2月21日 4月12日 <45日間>	【有料】 生誕140年記念 背く画家 津田青楓とあゆむ明治・大正・昭和展				

くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展 開催要項

- 1 開催趣旨

公文式学習法で知られる公文教育研究会は長年にわたり、「子ども浮世絵」の収集と研究を行っています。その理念はフランスの歴史学者であるフィリップ・アリエスの絵画資料を用いた中世ヨーロッパにおける子ども研究に基づいています。本展ではその中から子どもの遊びをテーマにした選りすぐりの浮世絵、絵巻、屏風、絵本、玩具など約 170 点を展示いたします。

江戸の庶民の生活を活写した浮世絵には、母子絵と呼ばれる母子の情愛を描いたものや、子供たちの遊びや年中行事を捉えたもの、大人たちの願いや想いを反映したものなど、歴史資料としての面ばかりでなく、今と変らぬ日常の様子や愛おしい様子が見て取れる。加えて、浮世絵版画は江戸時代の代表的印刷物であったことから、子供向けの教育、娯楽のための本や絵画、双六や凧などのおもちゃにも用いられ、広く庶民に楽しまれていました。

この展覧会ではそうした江戸時代の子供たちの様子や、当時の遊びを題材に、大人も子どもも楽しめる浮世絵の世界を紹介します。
- 2 会 期 平成 31 年 4 月 28 日 (日) ~ 6 月 9 日 (日)
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 錦絵版画、絵巻物、貝合せ・盤双六など 約 170 点
- 5 図 録 『くもん子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵』
- 6 観 覧 料 1,000 円
- 7 イベント 記念講演会、コンサート、ワークショップ
ギャラリートークほか
- 8 観覧者数 4,414 人 (116 人/日)
- 9 担 当 学芸員 真子みほ、加藤陽介

ふえるコレクション、かわるコレクション 開催要項

- 1 開催趣旨

1985年の開館以来、練馬区立美術館では、「日本近現代美術」を中心に作品の蒐集につとめ、現在では、2600件をこえるまでに成長しました。作品購入が厳しくなった近年でも、多くの寄贈に恵まれ、その数を増やし続けています。

展覧会開催をきっかけに、あるいは、人と人のつながりや、これまでのコレクションとのつながりから。寄贈の縁は、さまざまなかたちで結ばれてきました。コレクションに新たな一点が加わることで、これまでのコレクションは新たな一面をみせ、ますますその持つ意味を深めていきます。

こうしてあつまった作品は、物理的にもその姿をかえることがあります。経年の痛みや汚れが出た作品は、長期の保存を見据え、可能なかぎり修復します。また、むきだしのまま寄贈を受けた作品は、新たに額を新調するなど展示のためにかたちを変更することもしばしばです。コレクションは、そのかたちや持つ意味も含めて、いつまでもある一点に留まるものではなく、かわりつづけるものであり、そこには当館の歩みが映し出されています。

本展では、近年、練馬区立美術館のコレクションに新たに仲間入りした作品を中心に、修復し装いを新たにした作品たちをご紹介します。
- 2 会 期 令和元年6月14日(金)～7月4日(木)
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 油彩画、日本画、彫刻など約40点
- 5 観 覧 料 無料
- 6 イベント アーティストトーク、ワークショップ等を開催
- 7 観覧者数 2,370人(131人/日)
- 8 担 当 学芸員 喜多孝臣

没後 50 年 坂本繁二郎展 開催要項

- 1 開催趣旨

坂本繁二郎（明治 15 - 昭和 44 年・1882 - 1969）は夭折の画家、青木繁（明治 15 - 明治 44 年・1882 - 1911）と同年、同郷の福岡県久留米市に生まれた画家です。青木に触発されるように東京に出て本格的に油彩画を学び、太平洋画会や文展、東京府勸業博覧会などに出品し数々の賞を受賞し、39 歳で渡欧。3 年ほどの外遊からの帰国後は郷里近郊の八女市を制作の場に選び、中央とは一線を画し、制作三昧の生涯を終えました。

坂本はヨーロッパ留学までは牛を、帰国後は馬を、そして戦後は身の回りの静物、中でも能面を描き、最晩年は月をテーマとして描きました。中心となるテーマは、時代と共にゆるやかに変化していきますが、静物画は絶えず描いており、まさにライフワークとも言えるものでした。坂本の静物画のモチーフは果物、植木鉢、箱、本など平凡でありながら、幾重にも絵具が重ねられた画面は明るく、穏やかな静謐さを湛えています。「描きたいものは目の前にいくらかでもある」という晩年の言葉は、坂本の画業の真髄を伝えるものでありましょう。

本展は、没後 50 年にあたり、16 歳で描いた初期作から、盟友、青木繁の作品を交え、坂本の画業を約 150 点の作品・資料で展覧します。中でも本展では、生涯を通して描いた静物画に特に注目し、坂本の絵画が完熟していく過程をその人生の歩みと共に明らかにしていきます。
- 2 会 期 令和元年 7 月 14 日（日）～ 9 月 16 日（月・祝）
- 3 主 催 練馬区立美術館、毎日新聞社
- 4 内 容 油彩画、資料など 約 150 点
- 5 図 録 『没後 50 年 坂本繁二郎展』
- 6 観 覧 料 1,000 円
- 7 イベント 記念講演会、コンサート、ワークショップ
ギャラリートークほか
- 8 観覧者数 13,426 人（240 人/日）
- 9 担 当 学芸員 加藤 陽介、小野 寛子

エドワード・ゴリーの優雅な秘密 開催要項

- 1 開催主旨

アメリカの絵本作家エドワード・ゴリー (Edward Gorey / 1925 - 2000) は、アイロニカルで少し不気味な独特の世界観と繊細なモノクロームの線描で、世界中の人々を魅了しています。近年、『うろんな客』『不幸な子供』などの絵本の翻訳が次々と発表されたことにより、日本でもその人気が高まっています。

ゴリーの絵本世界は、幻惑的な物語と繊細で優雅なイラストで構成されています。文学に傾倒したゴリーらしく、古語や造語、押韻などが散りばめられたテキストによって、複雑で謎解きのようなストーリーが組み立てられ、細かいペンで描かれた個性的で不思議な登場人物たちが物語の世界を演じて見せます。

ただし、ゴリーが生み出したのは絵本の世界だけではありません。バレエや演劇など舞台芸術を愛した彼は、それらの衣装や舞台デザインやポスターなども手掛けています。このようなゴリーの世界観に、シュールリアリストのマックス・エルンストや映画監督のティム・バートンなど多くの芸術家や文化人が魅了されています。ゴリー自身が、ファイン・アートからポピュラー・カルチャーまで、囚われず幅広く愛好したように、彼の芸術はあらゆる創作の源泉となっています。

本展は、ゴリーの没後に、エドワード・ゴリー公益信託とブランディーワイン・リバー美術館によって準備された世界巡回の原画展を、日本ではじめて公開するものです。原画に資料や書籍などを加えた約 350 点から、ゴリーの世界観を紹介します。
- 2 会 期 令和元年 9 月 29 日(日) ~ 11 月 24 日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館 (公益財団法人 練馬区文化振興協会)
- 4 内 容 原画、資料等 約200点
- 5 図 録 出版社 (河出書房新社) より制作する。
- 6 観 覧 料 1,000円
- 7 イベント 学芸員によるギャラリートーク、ワークショップ等を開催
- 8 観覧者見込 14,700人(300人 / 日)
- 9 担 当 学芸員 小野寛子

没後 10 年 品川工展 組み合わせのフォルム 開催要項

- 1 開催趣旨

品川工（1908～2009）は、新潟県柏崎市に生まれ、練馬区に居住した作家である。1928年東京府立工芸学校（現都立工芸高校）を卒業後、彫金科宇野先眠に師事。その後兄・品川力とともに東京帝国大学近くで喫茶店ペリカン（のちのペリカン書房）を開き、そこで立原道造や織田作之助、串田孫一らと出会う。店に出入りしていた帝大生に訳してもらったモホイ・ナジの著書に感銘を受け、紙彫刻やオブジェなどの制作を始めた。1935年から恩地孝四郎に師事し本格的に版画制作を学ぶ一方、印刷会社に勤めた経験から“光の版画”やフォトグラム、鏡を使った“プリントミラー”など様々な版画表現も試みている。1954年にはサンパウロ・ビエンナーレ、1956年には現代日本美術展をはじめ、国内外の企画展に招待され、版画家・美術家としてのゆるぎない地位を築いた。また実験的な版画制作と並行してユーモラスなオブジェやモビールも続けて制作し、『新しいモビール』（1971年 日貿出版社）、『たのしいペーパークラフト』（1988年 講談社）などの著書もある。

品川は様々なジャンルからのアプローチが可能な作家であり、本人も「版画家」ではなく「造形作家」と呼ばれることを好んだという。没後10年の節目の年に開催する本展では、版画やオブジェなどの作品を展示するだけでなくその素材を探り解体・解説することで、品川の原点である、「素材」との出会いから出発する造形表現の軌跡を辿りたい。親しみやすい造形ながら鋭い実験精神に裏打ちされた品川の作品を紹介する。
- 2 会 期 令和元年11月30日(土)～令和2年2月9日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 版画、オブジェ等 約70点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 無料
- 7 イベント 学芸員によるギャラリートーク、ワークショップ等を開催
- 8 観覧者見込 7,980人 (140人/日)
- 9 担 当 学芸員 真子 みほ

生誕 140 年記念

背く画家 津田青楓とあゆむ明治・大正・昭和展 開催要項

- 1 開催趣旨

1880年に京都市上京区に生まれた津田青楓(1880～1978、本名・亀治郎)は、1894年に図案制作を学ぶために京都市立染織学校に入学、同時期に歴史画家谷口香嶠に師事し、本式の日本画を学び始めました。その後、聖護院洋画研究所で浅井忠に油絵を学び、1907年に農商務省海外実業実習生として渡仏、同行した安井曾太郎とともにアカデミー・ジュリアンで修行します。帰国後の1914年に二科会創立に参加。後に洋画を離れ、戦後は文人画風ののびやかで滋味豊かな作品世界を展開しました。

津田は、文豪夏目漱石に愛され、彼に絵を教えた画家であり、文展に抗して有島生馬らと在野の美術団体二科を創設した一人です。また、写生にもとづく創造的な図案の試みや、随筆や画論など多岐にわたる文筆活動、それに良寛研究とその成果ともいえる書作品など、幅広い交流と、旺盛で熱心な制作活動で知られています。しかし、さまざまな分野で足跡を残した津田ですが、これまで彼の制作の中心地であった東京では、まとまったかたちで作品やその生涯を紹介する回顧展は開催されていません。

東京初の回顧展となる本展では、交友のあった夏目漱石と社会学者・河上肇、それに私淑する良寛和尚と、津田がもっとも影響を受けた3人を軸にしながら、津田の作品や資料を通して、彼の生きた明治・大正・昭和という激動の三代を振り返りかえります。
- 2 会 期 令和2年2月21日(金)～4月12日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 油彩画、日本画、書など 約150点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 1,000円
- 7 イベント 学芸員によるギャラリートーク、ワークショップ等を開催
- 8 観覧者見込 9,000人(200人/日)
- 9 担 当 学芸員 喜多 孝臣

(2) 令和元年(平成31年)度 教育普及事業計画

令和元年11月1日現在

館内事業

展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

関連ワークショップ・講座

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	遊べる浮世絵展関連貫井図書館×練馬区立美術館ワークショップ「いろはかるたを作って遊ぼう！」 講師：真子みほ(当館学芸員)、貫井図書館職員	5月4日(土・祝) 13:30～16:30	1	小学3年生以上	30名	6
2	遊べる浮世絵展関連イベント 「こどもの日だよ！人間双六大会！」 進行：真子みほ(当館学芸員)	5月5日(日)[A]10:30～11:30 [B]13:30～14:30 [C]15:00～16:00	3	5歳～小学生	各回10名	23
3	遊べる浮世絵展関連ワークショップ(当日受付随時参加) 「さんでー工作 おもちゃ絵を組み立てよう！」 講師：真子みほ(当館学芸員)、アルバイトスタッフ	会期中の日曜日 (4月28日を除く) 10:30～17:00	6			192
4	ふえるコレクション、かわるコレクション展関連ワークショップ 「額装体験 お気に入りの作品を額装しよう」 講師：丸山勇(有限会社メセナ代表)	6月29日(土) 10:30～17:00	1	中学生以上	15名	14
5	坂本繁二郎展関連ワークショップ 「絵から始まる音の旅 - 音楽の手触り-」 講師：日本フィルハーモニー交響楽団ファシリテーションチーム	7月25日(水) 10:30～17:00	1	小学3～6年生	30名	18
6	坂本繁二郎展関連ワークショップ 「手触りから始める油絵」 講師：西村有未(画家)	8月3日(土)・4日(日) 10:30～17:00	1	小学5年～18歳	15名	4
7	エドワード・ゴッリー展関連貫井図書館×練馬区立美術館ワークショップ 「皆で作るペン画の詩画集」 講師：真子みほ(当館学芸員)、図書館職員	10月27日(日) 13:30～16:30	1	中学生以上	30名	29
8	品川工展関連ネリピラボ 「好きな材料で自由に造る/描く！カラフルなカタチ」 スタッフ：西村有未(画家)、中澤季絵(イラストレーター)、真子みほ(当館学芸員)	12月8日(日)、1月26日 10:30～16:00	2	小中学生	20名	
9	品川工展関連当ワークショップ 「2つ選べる！版画バイキング カタチで遊ぶ」 講師：西平幸太(版画家)、山口茉莉(版画家)、内山良子(版画家)	1月11日(土)、12日(日)、 13日(月祝)10:30～17:00	3	中学生以上	各回20名	
10	品川工展関連当日受付ワークショップ 「ペーパークラフト」 講師：真子みほ(当館学芸員)	1月18日(土)、19日(日) 10:30～11:30、13:30～14:30、 15:00～16:00	6	小学生以上	各回8名	
11	津田青楓展	2月	未定	未定	未定	

ギャラリートーク

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展	4月28日(日)10:30～ 5月16日(木)15:00～	2	自由参加		104
2	ふえるコレクション、かわるコレクション展	6月15日(土)、27日(木)15:00～	2	自由参加		60
3	坂本繁二郎展	8月15日(木)15:00～	1	自由参加		81
4	エドワード・ゴッリー展	11月6日(水)15:00～	1	自由参加		
5	品川工展	12月7日(土)、1月25日(土) 15:00～	2	自由参加		
6	津田青楓展	2～3月	未定	自由参加		

コンサート・ライブパフォーマンスなど

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	遊べる浮世絵展 オープニングミニコンサート 出演：松浪千紫(箏、三味線)他	4月28日(日)11:30～12:00	1	自由参加		78
2	エドワード・ゴッリー展 特別コンサート 出演：二井田ひとみ(トランペット)他	11月16日(土)18:20～19:30	1		40名	
3	津田青楓展	未定	未定	未定	未定	

鑑賞プログラム

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	遊べる浮世絵展関連 トコトコ美術館 テーマ：おもちゃ 講師：真子みほ(当館学芸員)	5月18日(土) [A] 10:30～12:00 [B] 14:00～15:30 5月19日(日) [C] 10:30～12:00 [D] 14:00～15:30 5月26日(日) [E] 10:30～12:30	6	3歳～6歳 + 保護者 小学1・2年生 + 保護者	各回 5組	54
2	ふえるコレクション、かわるコレクション展関連 あかちゃんと家族の鑑賞会 講師：真子みほ(当館学芸員)	6月16日(日) [A] 10:30～12:00 [B] 14:00～15:30	2	0～2歳の 赤ちゃんと その家族	各回 15名	26
3	ふえるコレクション、かわるコレクション展関連 トコトコ美術館 テーマ：すな 講師：真子みほ(当館学芸員)	6月22日(土) [A] 10:30～12:00 [B] 14:00～15:30 6月23日(日) [C] 10:30～12:00 [D] 14:00～15:30	4	3歳～6歳 + 保護者	各回 5組	45
4	品川工展関連 トコトコ美術館 テーマ：はなが 講師：真子みほ(当館学芸員)	12月21日(土) [A] 10:30～12:00 [B] 14:00～15:30 12月22日(日) [C] 10:30～12:00 [D] 14:00～15:30	4	3歳～6歳 + 保護者	各回 5組	
5	品川工展関連 あかちゃんと家族の鑑賞会 講師：真子みほ(当館学芸員)	12月15日(日) [A] 10:30～12:00 [B] 14:00～15:30	2	0～2歳の 赤ちゃんと その家族	各回 15名	

講演会など

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	遊べる浮世絵展関連 講演会 「講演会「もっと！遊べる浮世絵！」」 講師：藤澤 紫(國學院大学文学部教授、本展監修者)	6月2日(日)15:00～16:30	1	中学生以上	70名	66
2	坂本繁二郎展関連 記念講演会 「坂本繁二郎の魅力-牛、馬、そして月」 講師：島田紀夫(実践女子大学名誉教授、ブリヂストン美術館前館長)	8月17日(土)15:00～16:30	1	中学生以上	70名	58
3	坂本繁二郎展関連 記念講演会 「坂本繁二郎の道」 講師：森山秀子(久留米市美術館副館長)	8月31日(土)15:00～16:30	1	中学生以上	70名	70
4	坂本繁二郎展関連 記念講演会 「坂本繁二郎の発見」 講師：加藤陽介(当館学芸員)	9月14日(土)15:00～16:30	1	中学生以上	60名	52
5	エドワード・ゴッリー展関連 特別講演会 「エドワード・ゴッリーを見る／読む／訳す楽しみ」 講師：柴田元幸(アメリカ文学研究者／翻訳家)	10月26日(土)15:00～16:30	1	中学生以上	70名	64
6	エドワード・ゴッリー展関連 特別講演会 「ナンセンス・アート？風俗画の前衛？ゴッリーの魅力」 講師：河村錠一郎(一橋大学大学院名誉教授)	11月9日(土)15:00～16:30	1	中学生以上	70名	
7	津田青楓展	未定	1	中学生以上	70名	

） 美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	美術館をつかまえる!?館内探検とフロタージュ 講師:真子 みほ (当館学芸員)	7月26日(金)[A] 10:30 ~ 12:00 [B] 14:00 ~ 15:30 7月27日(土)[C] 10:30 ~ 12:00 [D] 14:00 ~ 15:30	4	5歳 ~ 小学2年生	各回 10名	36

学校関連事業

） スクールプログラム パンフレットを作成し各学校に配布。

団体鑑賞	美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする
施設見学	各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する
職場体験・訪問	受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える
出張プログラム	担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする

） ティーチャーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。

各回ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。

平成31年度は6回開催する。

	展覧会名
1	くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展
2	ふえるコレクション、かわるコレクション展
3	坂本繁二郎展
4	エドワード・ゴッリー展
5	品川工展
6	津田青楓展